

平成21年度町立辰野総合病院改革プラン点検報告について

町立辰野総合病院改革プランについては、平成21年3月19日に策定し、公立病院としての役割をすすめながら、平成25年度黒字化を目指というものです。本点検報告は、前年度分について翌年9月に点検・評価の結果を公表することに基づくものです。

平成20年度については、改革プランを策定した年でもあり、おおむねプランどおり事業をすすめることができました。

平成21年度については、改革プラン2年目の年として、20年度以上の取組をしてきたところですが、医師の4ヶ月の療養休暇もあり、改革プランをすすめるなかでの大きな問題もありました。改革プランを進める組織として、院内の職場責任者で組織した病院経営機能検討委員会を毎月開催し、経営の改善を中心に話し合い実行してきました。

8月23日に開かれた町立辰野総合病院運営委員会（委員9名）に、平成21年度の改革プランの状況について報告しました。報告内容は、別添のとおりです。

特に、医師の療養休暇にともなう、外来・入院の新規患者の受入ができなくなったことに伴う収入の減が大きく、経常収支比率・職員給与比率などにも影響が出ています。

平成22年2月に厚生労働省から地域医療再生計画事業が、上伊那医療圏として認められました。上伊那地域医療再生事業では、町立辰野総合病院の移転新築計画も含まれ、平成22年度設計・23年度建設・24年度中に開院と具体的な計画が決定しました。改革プランでは、23年4月に移転新築後の診療開始を目標としており、改革プランの見直しが必要になっています。

改革プランについては、病院の移転新築にともなうもの、平成22年3月末に整形外科の医師が退職し、4月から非常勤になったことからの経営状況の見直しなどを含めた見直しを、平成22年度中に実施します。

平成22年9月1日

町立辰野総合病院